

いえふる

- ◆ 令和元年度の予算の使い道は!? ··· P 2
- ◆ 伊江村の基金は!? ······ P 4
- ◆ どんな質問をしたの!? ······ P 7

140周年の風を吹かせて
全競技に全魂をこめ
感動的な運動会にするぞ!



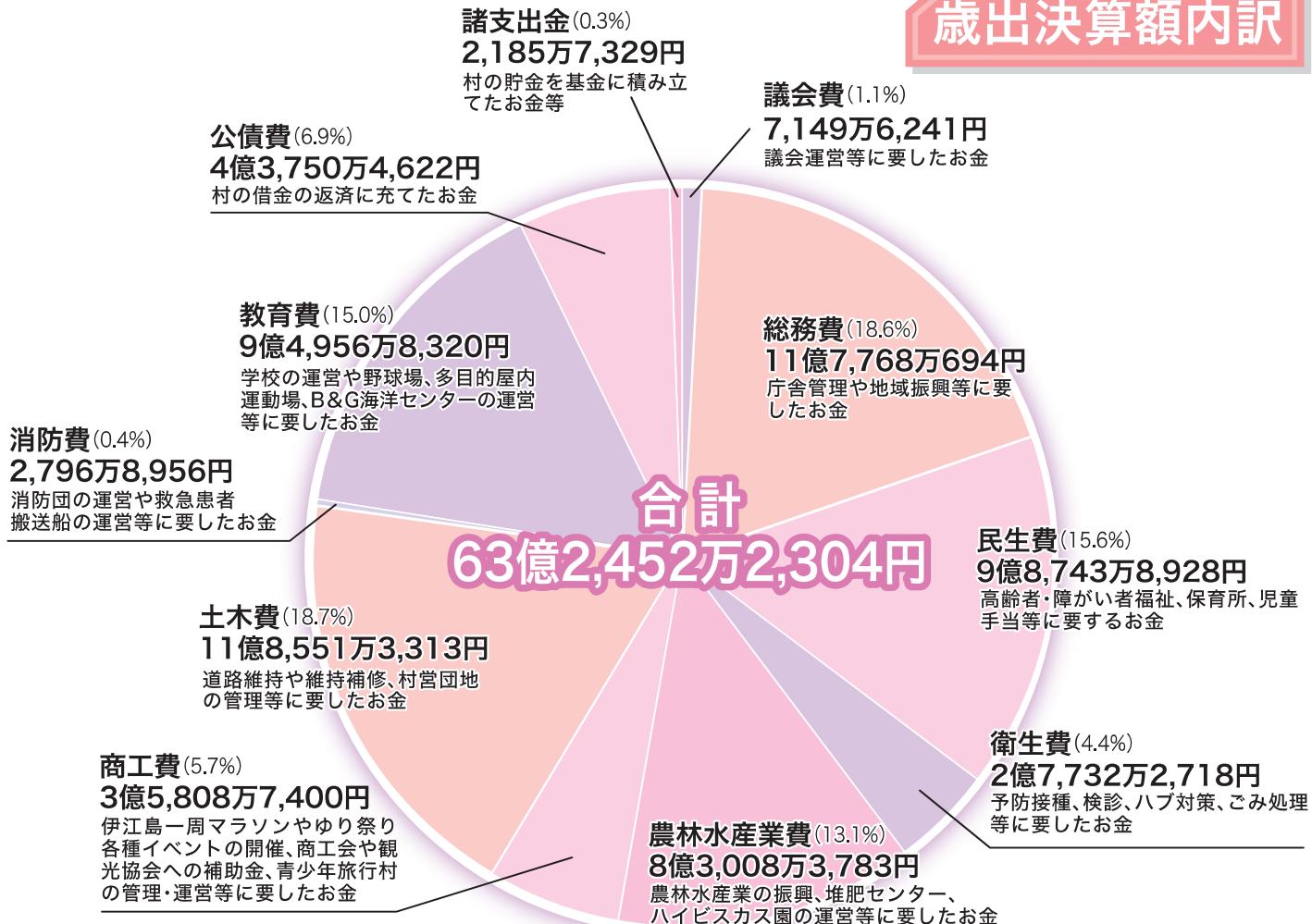
の黒字決算 (6会計)を認定

令和元年度歳入歳出決算額表

会計別	予算現額 (千円)	決算額(円)		差引残高 (円)	繰越明許 (円)(内数)
		収入済額	支出済額		
一般	6,442,777	6,541,964,548	6,324,522,304	217,442,244	62,771,000
診療所	341,700	346,646,651	336,652,768	9,993,883	—
国保	1,108,386	1,113,553,721	1,046,434,334	67,119,387	—
後期高齢者	66,520	66,002,921	65,622,598	380,323	—
水道 (収益)	208,886	182,597,973	170,870,363	11,727,610	—
船舶 (収益)	916,350	735,407,342	890,653,781	▲155,246,439	—
合計	8,896,619	8,986,173,156	8,834,756,148	151,417,008	62,771,000

令和2年第11回定例会(9月)を9月10日から14日までの5日間の会期で行いました。本定例会では令和元年度各会計の決算認定や令和2年度一般会計及び特別会計補正予算など19議案を審議しました。(※P13参照)令和元年度決算の認定にあたっては、決算審査特別委員会(※P5参照)を設置し、付託された各会計決算の議案について、慎重に審査を行ないました。その結果、付託された6会計決算すべて『認定すべきもの』と決定されました。

歳出決算額内訳

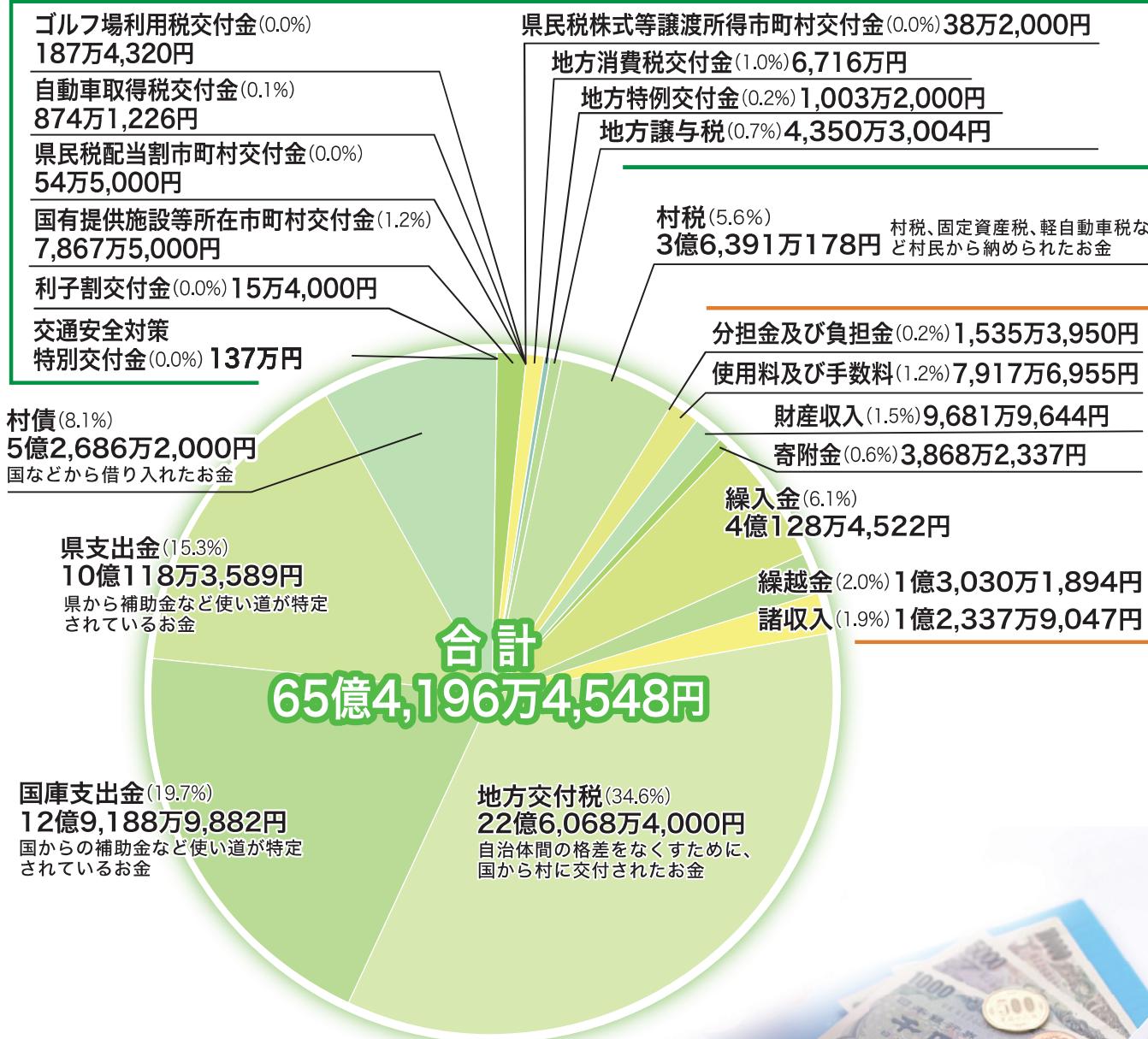


2億1,744万円

令和元年度決算

歳入決算額内訳

税収の一部を県や国から村に交付されたお金



繰入用金、及び
諸収入など、財
産収入、寄付金、

村債（借入金）残高の推移

平成29年度	33億6 4 0 7万円
平成30年度	58億6 4 0 7万円
平成31・令和元年度	52億6 8 6 2万円

平成31・令和元年度は、村の借金が前年度比5億9545万円の減となりました。

村民1人当たりに使われたお金はいくら？

1人当たり **1,412,985円**
1世帯当たり **2,813,399円**

※ 一般会計歳出決算額を、令和2年3月末の人口(4,476人)世帯(2,248世帯)で割り、算出しました。

伊江村の基金は42億円余! ふるさと納税は6千万円余!

単位:円

	基金名	前年度末 決算額	決算年度末額 (令和2年5月末)	基金の説明
1	財政調整基金	1,792,341,947	1,921,866,947	各年度間の財源の調整を図り、村財政の健全な運営に資する基金
2	未買収道路用地取得基金	66,118,468	61,510,507	未買収道路用地を取得し、公共用に供するための基金
3	減債基金	626,501,236	477,627,279	村債の償還財源に充てるための基金
4	人材育成基金	50,000,000	50,000,000	優れた学生及び生徒で、経済的理由により就学困難な者に対し、学資の安定的な貸与を行うための基金
5	芸能振興基金	46,500,000	46,000,000	村に伝わる民俗芸能の保存、継承を促進するとともに、優れた芸能の公演を奨励するための基金
6	地域振興基金	526,380,754	519,916,308	地域における福祉活動の促進、快適な生活環境の形成等を図る事業の実施を推進するための基金
7	地域福祉基金	149,801,495	149,891,165	地域の特性を活かした住民福祉の向上と健康・生きがいづくり・民間活動の活発化等の施策を推進することにより、高齢者等の保健福祉の向上を図るための基金
8	中山間地域ふるさと農村活性化基金	11,128,502	11,135,186	村の土地改良施設の機能維持及び活動強化を推進し、もって地域の活性化に資するための基金
9	県証紙購入基金	2,000,000	2,000,000	県証紙の売りさばきにより村民の利便を図るための基金
10	村民レク広場整備基金	141,529,420	134,529,420	村民レク広場施設の拡充整備及び維持補修等の後年度負担に備えるための基金
11	ちゅら島づくり応援基金(ふるさと納税)	31,326,924	60,034,060	ふるさと納税を活用し、目的に沿って地域の活性化を図るための基金
12	特定防衛施設周辺整備調整交付金基金	173,084,513	150,512,663	特定防衛施設周辺整備事業に係る施設の安定的な維持運営により地域住民の生活環境の維持向上を図るための基金
13	公用並びに公共用施設整備基金	350,829,594	391,240,812	村が行う公用並びに公共用施設の整備を図るための基金
14	再生可能エネルギー等導入推進基金	96,435	137,225	太陽光発電設備の余剰電力売電収入を新たな施設または整備の維持管理の財源に充てるための基金
15	真謝区・西崎区住環境負担軽減事業基金	35,000,000	76,779,000	伊江島補助飛行場に隣接する真謝区・西崎区における米軍の騒音被害を軽減する事業の財源に充てるための基金
16	土地開発基金	81,381,446	81,530,344	公用、公共に供する土地または公共の利益のために取得する必要のある土地をあらかじめ取得することにより事業の円滑な執行を図るための基金
17	国民健康保険基金(国保財政調整基金)	23,527,000	63,527,000	国民健康保険の保険給付に要する費用に不足が生じたときに充てるための基金
18	国保高額療養資金貸付基金	2,000,000	2,000,000	被保険者で高額な医療費を支払うことが困難と認められるものの属する世帯主に貸付けるための基金
合計		4,109,547,734	4,200,237,916	

※基金とは、ある目的のため積み立て、または準備しておく資本のこと。

※ふるさと納税とは、生まれた故郷や応援したい自治体に寄付ができる制度。

手続きをすると、寄付金のうち2,000円を超える部分については所得税の還付、住民税の控除が受けられる。

寄付金の使い道を指定でき、地域の名産品などのお礼の品もいただける魅力的な仕組み。

決算審査特別委員会

(令和二年九月十一日)

ここが
聞きたい!

質疑

問 ナガラ溜池の立ち上がりも含めて、また村全域で立ち上がりの不具合がないか確認し、修繕をして農家が困らないようにしていく。
答 老朽化しているが、今後対応策は。

問 ゴルフ場の決算資料は。カントリークラブの総会がまだ終わっていない。総会後、報告する。(後日配布)

答 ゴルフ場の決算資料は。カントリークラブの総会がまだ終わっていない。総会後、報告する。(後日配布)

問 住宅使用料(未納分)の回収状況は。今後の対応は。

答 徴収に努めている。個別的に自宅へ訪問または、役場に呼び出し徴収するなど、今後内部でも徴収の方法を検討していくたい。

問 現在の堆肥の受け入れや販売状況は。

答 コロナ対策事業等もあり、4月から8月末まで665トンの堆肥が出ている。販売額が142万

5,127円で、配達散布金額が32万100円となっている。

令和元年度の堆肥の販売実績は、2,970トン。前年度と比べて1,794トンの販売量の増となっている。金額として、前年度比で300万円余りの販売額が伸びている。

問 アジアン野菜の農家戸数は、増えているか。現在の状況は。

答 現在、アジアン野菜の農家戸数が2戸で、増えている。

問 修繕した箇所は。また湧出の取水も行っているのか。

答 現在、圃場に植え少しずつ株分けをし、2,940本まで増やしている。早めに農家に配布できるよう進めしていく。

問 城山浄水場のタンクに亀裂が生じた為、平成30年度は自己水源の湧出、城、西江上、水源池からの取水ができなかつた。修繕を行い、令和元年度は4月はじめから3か所とも取水ができる今回の実績になつていて。

問 無効水量の要因は水だが、今後の整備計画をどう考えていくのか。
答 調査後、大規模な漏洩箇所が見つかった。それを昨年の11月に感知し、12月に修繕。1月から今年7月までの約6か月間で有効率が89.0%まで改善されている。委員会を開催し、今年度、経営戦略計画を作成することになつており、老朽化した排水管の整備計画を立てている。

答 水箇所が見つかった。それを昨年の11月に感知し、12月に修繕。1月から今年7月までの約6か月間で有効率が89.0%まで改善されている。委員会を開催し、今年度、経営戦略計画を作成することになつており、老朽化した排水管の整備計画を立てている。



修繕した城山浄水場のタンク

決算審査特別委員会委員長報告

委員長
内間 広樹

令和元年度伊江村一般会計歳入歳出決算、診療所特別会計歳入歳出決算、国民健康保険特別会計歳入歳出決算、後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算、水道事業会計利益の処分及び決算、船舶運航事業会計利益の処分及び決算の各認定について本議会より審査に付託され、9月11日議長を除く全議員で構成する決算審査特別委員会を開会し、審査を行つた。

各会計の質疑が終了し、原案のとおり認定すべきものと決定した。

令和2年9月14日

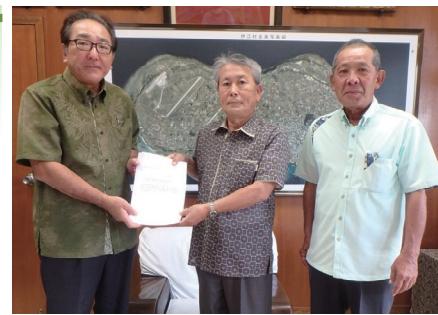
令和元年度

決算審査意見書

伊江村代表監査委員 具志川 豊秀 監査委員 内田 竹保

監査期間：令和2年7月1日～8月31日までの期間内(18日間)

監査内容：現地確認、書面検査、各課ヒアリング等



9月4日、島袋村長へ意見書を手渡す両監査委員

一般会計

財政運営は、一般会計他3特別会計とも、所期の事業が計画どおり執行され実質収支においては黒字決算になっている。引き続き、地方自治の本旨である「最小の経費で最大の効果を上げる」ことが行政の使命であり、尚一層、村の振興と住民生活の安定と福祉の増進に取り組んでいただきたい。

また、近年は長の政策のもと国や県の補助事業を積極的に活用し、各分野で大型事業が進められ、次年度以降も継続される。有効な補助事業の選定及び財源確保には費用対効果など慎重を期し、後年度のランニングコスト等を考慮し、計画に沿った適切な職員の配置、維持管理及び運営に努めていただくよう切望する。

診療所特別会計

診療事業収入だけでは運営できず、一般会計から約5千万円の繰り入れをしている。厳しい経営を強いられているが、医師及び医療スタッフの確保と施設の機能強化により、住民が安心して受診できることは高く評価できる。

引き続き、住民の健康寿命の延伸に保健業務との連携を密にし、新型コロナウイルス感染症予防対策など多様な疾病に対する医療体制の確立、住民の疾病予防の強化と健康管理に尚一層の取り組みを望む。

国民健康保険特別会計

今年度も一般会計から4千万円の繰り入れをしている。本来保険税で賄うべきものであるが、保険税の増額は極めて厳しく、今後も財源確保には苦慮するものと思われる。

年々医療費は増加傾向にあるが、特定健康診査の受診率向上と特定保健指導を積極的に展開し、医療費の抑制に努め、国保対象者1,943人の健康保持・増進に繋がる努力を望むものである。

国民健康保険税で前年度より滞納額が大きく減っていることは評価できる。今後とも徴収業務に尚一層の取り組みを望む。

後期高齢者医療特別会計

実質収支で黒字経営となり適正な運営がなされている。「高齢者の医療の確保に関する法律」による医療制度で75歳以上と一定の障害のある65歳以上で伊江村では774人が対象となっている。歳入については、後期高齢者医療保険料(72.4%)一般会計繰入金(24.8%)等で、歳出は総務費(2.0%)と後期高齢者医療広域連合納付金(97.8%)となっている。

水道事業会計

今年度は黒字決算となった。前年度は自己水源の取水は皆無であったが、施設の修繕等を行ったことにより、当年度の自己水源取水量は131,836m³(19.2%)を確保することができた。企業局からの依存度は80.8%と依然として高いものの、総受水量は555,403m³で過去5年間では最小限となった。受水費を節減できたことは評価できる。

一方、無効水量は依然として高い数値で推移している。引き続き、漏水対策は大きな政策課題であり、老朽管の早急な改修対策を講じるとともに、その他の原因についても徹底究明する必要がある。

今後とも安全で良質な水を安定供給できるように施設の自然災害への備えや老朽配水管路の把握と漏水防止対策等に万全を期し、健全経営を図るよう切望する。

船舶運航事業会計

昨年度に続き赤字決算となった。その主な要因は、フェリー「ぐすぐく」の賃借料によるものである。

旅客輸送については、当年度は47万4,330人で対前年度12,351人(2.5%)の減となった。車両航送は、8万1,925台で前年度比1,294台(1.6%)の増となった。旅客輸送は新型コロナウイルス感染症の影響により、民家体験泊事業のキャンセルなどが大きな要因と言える。

継続事業である沖縄県離島住民運賃割引事業や伊江村自動車航送コスト軽減事業は、次年度で終了予定だが住民の福祉の向上と利用者の負担軽減を図るうえからも継続されることを強く望む。

昨今の新型コロナウイルスの影響は、今後の観光並びに船舶運航事業会計にも大きな影響を及ぼすと懸念されるが、職員や関係機関と連携を図り、収束後の観光誘客に尽力願いたい。

これからも「公共の福祉の増進」及び「独立採算」を基本原則とし、適正な運営計画と財政計画のもと旅客及び車両航送の利用状況を的確に判断し、海上交通サービスの向上と安全運航に取り組まれ一層の研鑽を要望する。

※ 次年度以降においても政策が公共性及び透明性に留意し、効率的な事業が展開され、住民福祉の向上に繋がることを期待する。

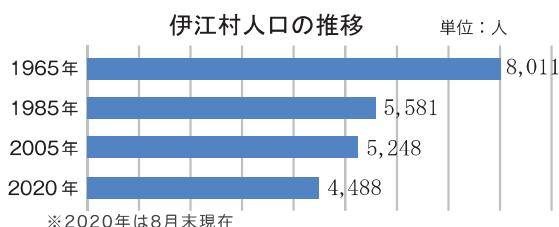
村政のここを問う!

一般質問の詳細については、ホームページの会議録をご覧下さい▶



島袋 義範 議員

Iターン、Uターンに対する助成制度を創設し、その促進を図れ



**人口増に向け
助成制度などの
調査研究を進める
村長**

村長
島袋 義範 議員

沖縄県においては、19市町村で人口増加、22市町村において人口減少している。沖縄県においては、19市町村で人口増加、22市町村において人口減少している。

③ Iターン、Uターン移住者に対する助成制度を早めに創設する考えは。

② 認識を持っているのか。
① 人口減少問題にどのような対応をとらなければならない。

このようないわゆる「自治の崩壊」や「自治体の消滅」等で表現され、町や村の存続さえも危うい地域が出ている。これによって、全国の過疎地域では「自治の崩壊」や「自治体の消滅」等で表現され、町や村の存続さえも危うい地域が出ている。

村長
伊江村長

沖縄県においては、19市町村で人口増加、22市町村において人口減少している。

③ Iターン、Uターン移住者に対する助成制度を早めに創設する考えは。

② 認識を持っているのか。
① 人口減少問題にどのような対応をとらなければならない。

問 島の紹介をする際に「自然が豊かです」「一日4便もあって便利です」だけでは移住してもらえるはずがない。移住者に対する「働く場所」「住宅の整備」「生活安定までの援助」等の具体的な支援制度を確立して誘致活動する考えは。

問 島の紹介をする際に「自然が豊かです」「一日4便もあって便利です」だけでは移住してもらえるはずがない。移住者に対する「働く場所」「住宅の整備」「生活安定までの援助」等の具体的な支援制度を確立して誘致活動する考えは。

② 移住相談や空家対策の相談窓口の開設、さらにSNS等を活用し移住・定住に関する情報を発信しているが、これまでに14件の相談があった。③ 国、県の支援事業等の情報収集など先進地の優良事例を調査研究し効率的、効果的な移住・定住の支援事業の推進に取り組みたい。

問 本村の人口減少は近年歴史的な問題だと認識している。平成30年度版産業まつりの資料によると、本村人口のピークは1965年（昭和40年）の8,011人で令和2年8月末人口が4,488人、ピーク時に比べ、実際に3,523人の減少となっている。全国の過疎地域では「自治の崩壊」や「自治体の消滅」等で表現され、町や村の存続さえも危うい地域が出ている。

① 将来にわたり継続的な村づくりを進めていく上で喫緊の課題だと認識している。

② 移住相談や空家対策の相談窓口の開設、さらにSNS等を活用し移住・定住に関する情報を発信しているが、これまでに14件の相談があった。③ 国、県の支援事業等の情報収集など先進地の優良事例を調査研究し効率的、効果的な移住・定住の支援事業の推進に取り組みたい。

問 島に帰って島のために頑張ってもらいたいと発信するという意味では一つの有効な手段だと考えるので、いろんな意見を取り入れながらしっかりと検討したい。

島の子供達が農・漁業者の後継者となる為、または定住し働く為の助成制度を構築してIターンの促進を図るべきだ。



*1 Iターン
出身地とは別の地方に移り住む、特に都市部から田舎に移り住むこと。

*2 Uターン
地方から都市部へ移住した者が再び地方の生まれ故郷に戻ること



虹江 修 議員

村広報誌「イーハツチャード」にかかる 契約について

**契約事務に求められる透明性、公平性、
経済性及び公正な競争の促進を図る**

村長

問 地方公共団体における契約は地方自治法第234条により「売買、貸借、請負その他の契約は一般競争入札、指名競争入札、随意契約又はせり売りの方法により締結するものとする」とされている。

昨年6月定例会において事務・事業執行における各種文書の管理について質問した。それらも含め異なる視点から改めて調査したところ、平成27年度から平成28年度では支払額で100万円余の大額な減額になっている。なぜこのような大幅な減額になったのか。

本契約においては見積合戦により執行されたものと思われるが、適正な形で執行されたのか甚だ疑問を抱かざるを得ない。契約の相手方を

特定したうえで契約締結交渉をしたとすれば、当該業者との癒着が生じたり、不正に高い代価を支払う結果になるおそれがあること、ひいては住民がそのような疑惑を抱き、行政に対する信頼が損なわれるおそれもある。

本来、見積合わせとは2人以上の者から契約の目的に対する代価を算定した見積書を提出させ、それを基に、最も有利な条件の相手方を選定し、その者と契約するという方法である。言い換えれば、単に有利な契約条件を獲得するだけではなく、契約手続きの公平さを確保する手段でもある。

村民から疑惑・疑念を抱かれないと、今後、村当局としてどのように対応していくのか。

議員のご指摘を踏まえ、更に契約事務に求められる透明性、公平性、経済及び校正競争の促進を図るととも

に、職員には、日々の業務において、契約規則や随意契約ガイドライン等に則った契約事務の執行について改めて再確認し、村民目線、客観的視野を持ち、常にその業務の信頼度を重視して、慣例的に委託してきた経緯があつたが、現在は、良質な成果品を低廉な価格で発注するため、見積を徴して業者を選定している。

平成27年度と平成28年度の印刷業務費の差額について、監査委員から指摘を受け、平成28年度の広報誌印刷業務の見積書を徴して印刷業務を発注したことによるものである。



※3 低廉
値段が安いこと。金額が少ないこと。

※4 隨意契約ガイドライン
競争入札によらずに任意で決定した相手と契約を締結すること、及び締結した契約を随意契約といい、その契約の指導方針として示す、大まかな指針。指導目標の事。

つぶやき

すべては我々の貴重な税金でまかなわれていることを再認識してもらい、違法・不当な支出、また、疑惑・疑念を持たれることのないよう執行されることを期待し、これからもチェック機能を果たしていきたい。



伊江村の人口減少対策は

企業誘致を図り、人口増を目指す
村長

並里 晴男 議員

問 本村の人口は、年々減少の傾向にあり、憂慮すべき問題であると考えている。離島である本村は、地理的不便により企業誘致、産業の構築には大きなハードルとなっている事は承知しているが、村で安心して働ける企業誘致、産業の構築は人口減少対策として重要な政策であるが、その考えは。

答 人口減少問題の克服には、「雇用の場の創出」は極めて効果的な手段で、議員と同感である。村外資本を活かした民間主導の企業誘致を図る取り組みも積極的に検討している。さらに、現在策定作業を進めている「第5次総合計画」「次期総合戦略」においても、人口減少対策として島に何が必要で、村民が何を求めていけるかを検証しながら、より広い視野で長期的な展望に立つた施策立案ができるよう取り組んでまいりたい。

問 来年には村内に有料老人ホームの整備が予定され、村民が関心を持つている。有料老人ホームの進捗状況は。

答 これまで伊江村だけで使用していた伊江島空港の問題は、今は北部全体の北部振興会の中でも重要な事項として取り組んでいく事となっている。伊江島空港を所有する村としては、その中で主体的な役割を果たしていきたいと考えている。

答 人口減少問題の克服には、「雇用の場の創出」は極めて効果的な手段で、議員と同感である。村外資本を活かした民間主導の企業誘致を図る取り組みも積極的に検討している。

さらに、現在策定作業を進めている「第5次総合計画」「次期総合戦略」においても、人口減少対策として島に何が必要で、村民が何を求めていけるかを検証しながら、より広い視野で長期的な展望に立つた施策立案ができるよう取り組んでまいりたい。

答 人口減少問題の克服には、「雇用の場の創出」は大手航空会社と本土のデベロッパーが関心を示しており、現在、場所の選定や地主との交渉に入る段階であると承知している。

答 人口減少問題の克服には、「雇用の場の創出」は大手航空会社と本土のデベロッパーが関心を示しており、現在、場所の選定や地主との交渉に入る段階であると承知している。

答 本村の人口は、年々減少の傾向にあり、憂慮すべき問題であると考えている。離島である本村は、地理的不便により企業誘致、産業の構築には大きなハードルとなっている事は承知しているが、村で安心して働ける企業誘致、産業の構築は人口減少対策として重要な政策であるが、その考えは。

答 本村の人口は、年々減少の傾向にあり、憂慮すべき問題であると考えている。離島である本村は、地理的不便により企業誘致、産業の構築には大きなハードルとなっている事は承知しているが、村で安心して働ける企業誘致、産業の構築は人口減少対策として重要な政策であるが、その考えは。

答 11月の中旬ごろに工事の発注、契約、順調進めば、完成予定が令和3年8月の中旬、事業開始が9月中旬ごろを予定している。

答 定住促進を活発にするためには、ホームページ等を活用して、地域おこし協力隊を募集するのも、一つの政策と思われる。今後もホームページ等で募集する考えは。

答 地域おこし協力隊1人を配置している。今後において、協力隊のお力を借りする必要があるのでは、広く周知をして、村の振興発展に寄与できればと思っている。

答 リゾートホテル誘致に向け、村ができる環境づくりとして、空港活用の再開に向けた考えは。

答 企業誘致に欠かせないのが、インターネット等の環境整備だと思うが、現在の状況は。

答 平成26年度に本部町から伊江村まで、光ファイバーの接続回線を接続して、地域整備事業の中で、村内の通信網が伊江村でも活用できるので、企業誘致のハードルは、そんなに高くはない



活用が期待される伊江島空港



令和3年9月開所予定の老人ホーム建設予定地

*5 デベロッパー

大規模な宅地造成やリゾート開発、再開発事業、オフィスビルの建設やマンション分譲といった事業の主体となる団体・企業のことである。

*6 光ファイバー

離れた場所に光を伝える伝送路である。ファイバーとは英語で纖維という意味で、このことから光学纖維(こうがくせんい)とも呼ばれる。

*7 WiMAX基地局

通信機器と直接通信を行う装置。そもそも基地局は、WiMAXに限定されてるものではなく、一般的には携帯電話が通信を行うために必要なものとなっている。

島袋秀幸村長の3選出馬について

2期8年の実績を踏まえ、
3期目に向けて取り組んでいきたい
村長



内田 竹保 議員

島袋秀幸村長は、平成25年4月に村長就任以来2期8年の任期を来年迎えようとしている。1期目は無投票当選であった。2期目は伊江村の村長選挙で実際に44年ぶりの選挙となつたが、多くの村民から信任を得て再選となつた。村長就任以来、「お互いに支えあい、誇りを持って、豊かな気持ちで暮らし続けられる村」の実現に全力で取り組まれたことに敬意を表する。

これまでの実績は、村民が周知のとおりである。また、現在も世界的に猛威を振るう新型コロナウイルス感染拡大の中で、なお先が読めない状況は深刻である。国・県の予算措置が功を奏し、村民

村長　これまでの新型コロナウイルスの感染防止対策と社会活動の自粛等への協力にお礼申し上げ、引き続き県・村等が行う感染防止対策に協力していただき

これまでの政治手腕と判断力は卓越しており、今後とも伊江村の舵取りとして継続が不可欠である。そこで来年の伊江村長選挙に3期目を目指してほしいと、私のみではなく多くの村民が望んでいる。伊江村振興発展のために、さらなる村の飛躍を図るうえで、出馬に期待する。

3選出馬についての考えは、

島袋秀幸村長は、平成25年4月に村長就任以来2期8年の任期を来年迎えようとしている。1期目は無投票当選であった。2期目は伊江村の村長選挙で実際に44年ぶりの選挙となつたが、多くの村民から信任を得て再選となつた。村長就任以来、「お互いに支えあい、誇りを持って、豊かな気持ちで暮らし続けられる村」の実現に全力で取り組まれたことに敬意を表する。

これまでの政治手腕と判断力は卓越しており、今後とも伊江村の舵取りとして継続が不可欠である。そこで来年の伊江村長選挙に3期目を目指してほしいと、私のみではなく多くの村民が望んでいる。伊江村振興発展のために、さらなる村の飛躍を図るうえで、出馬に期待する。

ながら、必要な社会経済活動を行っていただきようお願ひをしていく。

特に、現在手掛けている事業の中で、畜産総合施設、多目的交流施設、屋内体育施設、プール施設整備など任期中に完遂できないものもあり、道半ばとの思いもある。

今年度策定予定の「第5次伊江村総合計画」や「新行革大綱」を踏まえ、「融和」「協調」「躍進」を旗印に令和の時代、未来に輝き魅力あふれる郷土「伊江島」づくりへの強い気概を持ち、残り任期中コロナ対策をはじめ多くの課題解決に向け、事務事業の執行に万全を期し、2期8年の実績を踏まえ3期目につき引き継いで、生み出した事業の完結、そして伊江村の令和の劈頭を飾る、伊江村の土台づくり、伊江村づくり、村民の豊かな暮らしと福祉の向上に再度決意を持つてしつかりと取り組んでいかなければと思っていて。また任期中の公約実現についても全力で取り組んでいく。

へきとう
※8 劈頭
物事のいちばん初め。最初。冒頭。



令和2年度完成予定の保育所

伊江村婦人会役員 9月定例会傍聴



一般質問を傍聴する婦人会(9名)

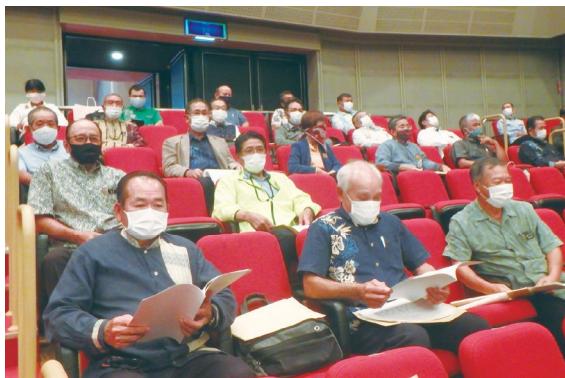
感想

- ◆ 様々な議論を傍聴でき、住み良い伊江村になるよう努力していることを知り、勉強になりました。
- ◇ 議会広報紙で議会内容など、どんな話し合いがされているか毎回読んではいましたが、実際に傍聴するのは初めてで良い経験になりました。
- ◆ 色々な質問に対し、執行部が臨機応変に答えて、すごかった。

沖縄県町村議会議員・事務局研修会

研修報告

全議員 10月23日
場所:かでな文化センター



「自治体の防災・減災対策と災害時の議会議員の役割」と題し、跡見学園女子大学観光コミュニティ学部教授の鍵屋一氏を講師に、東日本大震災の教訓を踏まえ、災害時の議員の役割についての講演が行われた。

また、「町村議会議員選挙及び町村選挙の選挙公営について」と題し、全国町村議會議長会議事調査部長の平岡順人氏が町村議会議員選挙における選挙公営及び供託金や各町村での条例制定などについての講演が行われた。

令和2年12月12日に施行される「公職選挙法の一部を改正する法律」により、町村議会議員選挙において、供託金が導入されるとともに、各町村で条例を定めることによって、選挙公営を公費で実施することとなった。

※伊江村においては、令和3年4月の村長選挙から適用される見通し。

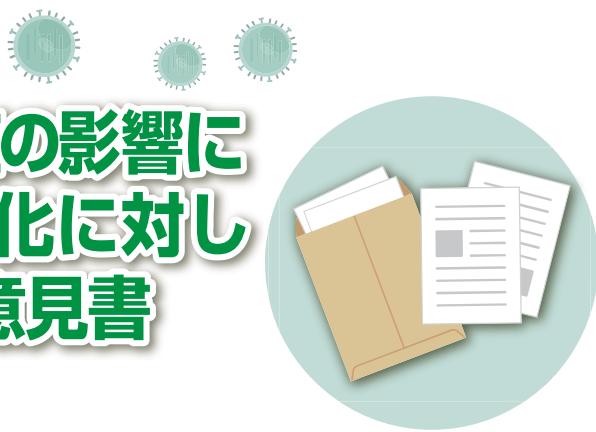
意見書第7号

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方財源の確保を求める意見書

を提出しました。

あて先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣、内閣官房長官、経済再生担当大臣、まち・ひと・しごと創生担当大臣



渡久地議長

沖縄県離島振興市町村議会 議長会会長に選任

10月13日、自治会館で開催された同議長会臨時総会において、渡久地政雄議長が会長に選任されました。同時に全国離島振興市町村議会議長会の理事に就任し、沖縄県・全国の離島が抱える様々な問題や課題、地域の活性化に向け取り組んでいきます。

渡久地会長は新役員を代表して「コロナ禍で厳しい現状にあるが、離島の振興・発展なくして、沖縄県、日本の発展なしの理念を持つて、離島18市町村議会が一致団結して、難局を乗り越えていこう」と力強くあいさつ。任期は、令和2年10月14日～令和4年10月13日まで。



具志川代表監査委員

全国町村監査委員協議会会長から表彰



11月9日、読谷村文化センターにおいて、県町村監査委員協議会の臨時総会・研修会が開催され、具志川豊秀代表監査委員と内田竹保監査委員が出席しました。

具志川代表監査委員は「町村監査委員として7年以上

在職し、功労のあつた者」として高く評価され、全国町村監査委員協議会（米口稔会長）から表彰されました。具志川代表監査委員の在職期間は、平成25年7月1日から現在に至る。



コロナ対策や離島振興に関する要望を国に求める

11月10日に開催された全国離島振興市町村議会議長会令和2年度臨時総会(Web会議)において下記事項が全会一致で可決されました。

◆新型コロナウイルス感染症対策に関する特別要望

離島の総合的な感染症対策の構築及び強化、離島市町村財政への支援強化、離島の水際対策に対する支援強化など5項目。

◆令和3年度離島の振興に関する要望

離島地域の振興、交通対策の強化、産業対策の強化、医療対策の強化、教育・文化の振興など13項目。



議 決 の 結 果



令和2年第10回伊江村議会臨時会

会期：8月25日(火)

議案番号	件 名	議決結果
議案第59号	伊江村防災行政無線デジタル化整備工事の請負契約について	原案可決

第11回伊江村議会定例会

会期：9月10日(木)～9月14日(月)

議案番号	件 名	議決結果
報告第6号	令和元年度沖縄県町村土地開発公社事業報告及び決算報告書の提出について	原案報告
報告第7号	健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	〃
同意第1号	農業委員の任命について(川平区玉城増生氏) ※全会一致(起立採決)	原案同意
同意第2号	農業委員の任命について(西江前区玉城正芳氏)	〃
同意第3号	農業委員の任命について(東江上区西江正氏)	〃
同意第4号	農業委員の任命について(東江上区大城進氏)	〃
同意第5号	農業委員の任命について(東江前区大城孝美氏)	〃
同意第6号	農業委員の任命について(阿良区棚原貴光氏)	〃
同意第7号	農業委員の任命について(西江上区知念雄二氏)	〃
同意第8号	農業委員の任命について(真謝区知念順二氏)	〃
同意第9号	農業委員の任命について(西崎区大城貴子氏)	〃
議案第60号	令和2年度伊江村一般会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第61号	令和2年度伊江村診療所特別会計補正予算(第2号)	〃
議案第62号	伊江村職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃
議案第63号	伊江村税条例等の一部を改正する条例の制定について	〃
議案第64号	北部広域市町村圏事務組合規約の変更について	〃
議案第65号	伊江村E&Cセンター送風機機器購入の契約について	〃
議案第66号	村立保育所厨房備品購入の契約について	原案可決
議案第67号	村立保育所備品購入の契約について	〃
認定第1号	令和元年度伊江村一般会計歳入歳出決算の認定について P2・P6参照	原案認定
認定第2号	令和元年度伊江村診療所特別会計歳入歳出決算の認定について P2・P6参照	〃
認定第3号	令和元年度伊江村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について P2・P6参照	〃
認定第4号	令和元年度伊江村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について P2・P6参照	〃
認定第5号	令和元年度伊江村水道事業会計利益の処分及び決算の認定について P2・P6参照	〃
認定第6号	令和元年度伊江村船舶運航事業会計利益の処分及び決算の認定について P2・P6参照	〃
意見書第7号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書について ※起立多数により可決 P11参照	原案可決
陳情第1号	県産品の優先使用について(議会広報No.170号 P11参照)	原案採択

第12回伊江村議会臨時会

会期：11月18日(水)

議案番号	件 名	議決結果
議案第68号	ビーチクリーン整備事業ビーチクリーナー購入業務の契約について	原案可決
議案第69号	ビーチクリーン整備事業トラクター購入業務の契約について	〃
議案第70号	伊江村畜産総合施設整備工事(R2)土木の請負契約について	〃
議案第71号	令和2年度伊江村一般会計補正予算(第5号)	〃

いえそん

議会広報の感想を
聞いてみました!

小波津 京子 こはづ きょうこ

役 職 伊江小学校 校長
行政区 東江前区(今帰仁村出身)



◇自己紹介

4月に伊江小学校校長を拝命し、伊江っ子と楽しく過ごしています。140周年記念運動会では、子ども達の魂のこもった演技に胸がいっぱいになりました。今後ともご支援をよろしくお願ひします。

◇議会広報「いえそん」を読んでの感想

豊かで活力ある村づくりのために、様々な施策についての説明が丁寧でわかりやすいです。
題字提供のコーナーはほのぼのとして和みました。

◇伊江村に期待する事

15の島建ちにむけて、学校教育へのご支援がすごく手厚く感謝しております。140周年式典が2月7日に開催されます。ご協力よろしくお願ひします。

内間 幸男 うちま ゆきお

役 職 伊江村老人クラブ連合会会長
行政区 東江前区



◇自己紹介

私はこれまで多くの方々にお世話になり、今日があると思っています。これからも少しでも社会のために役立ちたいと思い、人生の願望である健康で長生きをめざし頑張りますのでご指導、ご協力ををお願いします。

◇議会広報「いえそん」を読んでの感想

私は情報に恵まれないので、村政や内外の動きを知ることは非常にためになります。

これまで表紙のタイトルの揮毫について、施設入所者の皆さんのがたってきていますが、素晴らしいことです。きれいさという視点よりも、それぞれの特徴があり、味わい深いものがあります。

◇伊江村に期待する事

議会は村の方向付けをする大事な機関です。

当面の課題や中長期的な展望をもつことも求められ、民意を反映させることはもちろんのこと、多くの情報を知る立場にあるので、これを住民に還元せる役目もあると思います。

村民の代表として村と一体となって住み良い伊江村づくりをめざしていただきたい。

自分を守り 大切な人を守り 地域を守る行動を!



マスクをしよう



手を洗おう



距離をとろう
じーまみ(約4cm)50個分!!



議会活動 云の report

9月

Sep

- 7日:議会運営委員会
- 10日~14日:第11回伊江村議会定例会
- 24日:城山御嶽看板贈呈式(議長)
- 30日:あおぞら小規模保育園開所式(議長)

10月

Oct

- 1日:伊江島補助飛行場内コーラル滑走路現場確認(議長・名嘉議員)
沖縄北部地域救急・救助ヘリ運航開始セレモニー(正副議長)
農業委員会辞令交付式(議長)
- 2日:北部振興会第1回評議員会(議長/名護市)
- 5日:外務省沖縄事務所副所長表敬(議長)
- 9日:北部広域市町村圏事務組合議会第55回臨時会(議長/名護市)
- 10日:西小学校運動会(西小校区議員)
- 11日:伊江小学校運動会(伊江小校区議員)
- 12日:県町村議会議長会 定例理事会・総会(議長/那霸市)
- 13日:県離島振興市町村議会議長会 臨時総会(議長/那霸市)
- 14日:全国離島振興市町村議会議長会 Web会議テスト(議長/那霸市)
- 23日:県町村議会議員・事務局職員研修会(全議/嘉手納町)
- 27日:全国離島振興市町村議会議長会 理事会Web会議(議長/那霸市)
- 28日:「THE FORCE~Iejima Beach Glamping~」お披露目式(議長)
(製糖工場東側にオープンした県内初のドームテントの宿泊施設)
- 29日:北部広域市町村圏事務組合と名桜大学との懇談会(議長/名護市)

11月

Nov

- 5日:全国火災予防運動に係る防火デー式(全議)
- 9日:県町村監査委員協議会 臨時総会及び研修会(内田監査委員/読谷村)
- 10日:全国離島振興市町村議会議長会 臨時総会Web会議(議長/那霸市)
- 11日:第56回沖縄県介護保険広域連合議会臨時会(義範議員/読谷村)
北部地区町村監査委員協議会研修会(内田監査委員/今帰仁村)
- 18日:第12回伊江村議会臨時会
本部港クルーズ船受け入れに向けたセミナー(議長/名護市)
- 19日:議会広報調査特別委員会(議長・広報委員)
- 25日:第64回町村議会議長会全国大会(議長/東京)
- 30日:第13回伊江村議会臨時会
伊江村観光推進協議会(議長・経公委員長)

12月
定例会予定

12月16日(水)午前10時~

傍聴を希望される方は、お気軽にお問合せ下さい。
※コロナの影響により、ご遠慮頂く場合がございます。



見て来て議会、



「城山御嶽」銘板寄贈式



コーラル滑走路現場確認



防火デー式

題字提供はこの方



わーどう
はちゅう
やんとー

いえそん

しまぶくろ
島袋 サダさん

昭和5年生 満90歳
東江上区(屋号:ブータンヤ)
ふさと苑

若い頃は、行商でバリバリ働いた経験をもつスーパーおばーです。話上手でユーモアもあり常にまわりは笑いが絶えません。

「働くばかりだったけど、こんな所があつて嬉しいさあ」とデイサービスの利用を楽しみにされています。

伊江島空港拠点 救急・救助ヘリ運航再開 北部圏域の命の翼に

救急・救助ヘリ「やんばるレスキューへリ」は伊江島空港を拠点に北部圏域の人命救助や救急搬送を行います。

国からの運航補助と各市町村の負担金で運営され、2020年10月1日から2021年度まで運航予定。

年中無休で午前9時から午後5時まで運航します。



編集後記



爽やかなミイニシの季節になりました。村民各位から議会広報「いえそん」に関心が深まったとの声を聴き感謝申し上げます。

去った10月1日、はにくすにホールで、沖縄北部地域救急・救助ヘリ運航開始セレモニーと伊江島空港でヘリのお披露目がありました。

この度の、沖縄北部地域救急・救助ヘリ運航事業は、北部広域市町村圏事務組合がNPO法人メッシュサポートへ業務委託し運航されます。救急・救助ヘリは、伊江島空港に常駐、パイロット等も伊江島に居住、医師は毎日、本島から派遣され急患に備え待機しています。このことから県北部地域の急患搬送は、従前にもまして迅速に対応できるものと期待できます。

結びに新型コロナウイルス感染防止にはこれまで以上に気を配り、本村の感染者の皆無を継続しましょう。

尚、本村議会と議会広報「いえそん」への忌憚のない、ご意見を寄せていただくことを望み、編集後記とします。

議会広報調査特別委員会 委員 亀里 敏郎



議会や議会広報に関してご意見やご要望をお寄せ下さい。

伊江島キャラクター
『タッちゅん』

(0980) 49-2924 伊江村議会事務局